

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）に関する 特別な注意の呼びかけ終了に伴う知事コメント

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）に関する特別な注意の呼びかけ終了に伴う知事のコメントを下記のとおり、お知らせいたします。

記

■ 東京都知事 小池 百合子

令和6年8月8日に発生した宮崎県日向灘を震源とする地震を受けて、気象庁より南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表されていました。

それから一週間が経過し、新たな大規模地震の発生可能性につながると考えられる異常な現象は観測されなかったことや、後発地震の発生可能性は時間の経過とともに低下すること等を踏まえ、本日8月15日、防災担当大臣より「本日17時をもって、政府としての特別な注意の呼びかけは終了する。引き続き日頃からの地震への備えについて定期的に確認いただき、大規模地震に備えていただきたい」との発表がありました。

これを踏まえ、都においても、災害対策本部については廃止することとします。

南海トラフ地震や首都直下地震の発生確率は、今後30年で70パーセントといわれており、いつ起きてもおかしくありません。家具等がきちんと固定されているか、避難場所や避難経路を知っているか、水や食料などの備蓄ができているか、ご家族との連絡手段を確保しているかなど、日頃からの備えについて、改めてご家族や大切な方と一緒に確認をしてください。

都は、引き続き情報を収集してまいります。

【問合せ先】

問い合わせ先
東京都総務局総合防災部
03-5388-2453（直通）